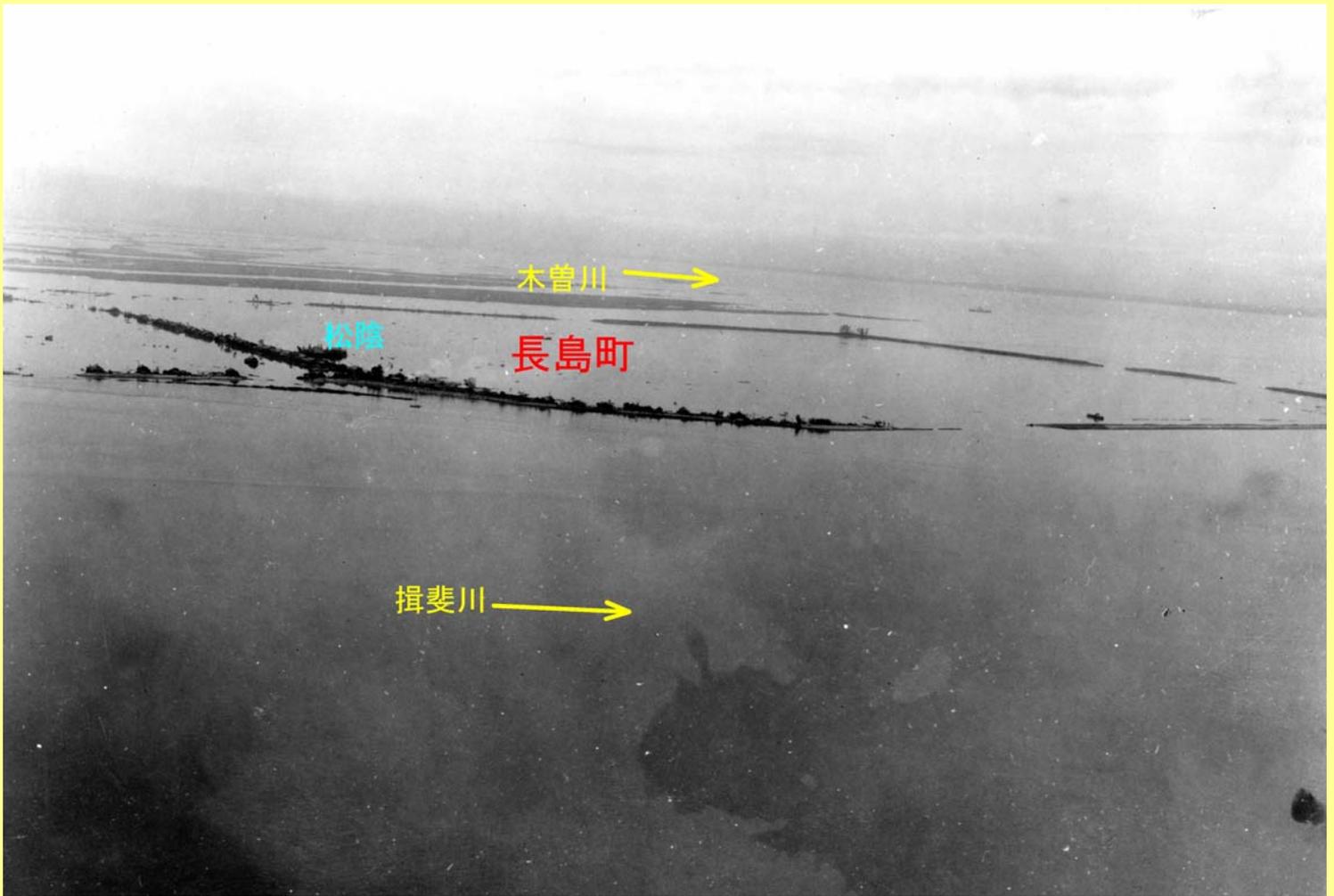


伊勢湾台風写真台帳



<p>写真名称： 長島町南部、木曾川河口を上空北西方向から望む</p>	<p>現地状況、コメント等</p>
<p>エリア： 三重県</p>	<p>〔長島海岸堤について:被災体験を持つ元建設省職員の方の所見（座談会）〕</p>
<p>撮影箇所： 長島町</p>	<p>長島海岸堤は当時（被災前）は、木曾川導流堤から長良川河口堤までの間、表法面は練石張りにコンクリートパラペットをつけたもので、裏法面は自然の植生に覆われていた。また、海岸堤の海側は、干潮時には数百メートルの干潟が現れハマグリ採取が行われる様な浅い海であった。堤内は法先に沿って幅数メートル～数十メートルの水路があり、養魚池に使用されていた。この水路の長良川寄り（現在の長島温泉の位置）天然ガスの採掘が開始されていた。長島海岸堤の管理者は三重県であり詳細は把握していない。</p>
<p>撮影日： 1959年</p>	<p>〔被災した方の所見（長島町）〕</p>
<p>撮影者： 陸上自衛隊</p>	<p>長島町南部の浸水状況であり、長良川左岸堤防、及び長島海岸堤防の破堤部が見られる。海岸堤防はコンクリートで波返しが付いており、天端は車が通ることも出来た。裏は土盛りであった。伊勢湾台風時は、越波が堤防裏の土を削り、堤内地にコンクリートが倒れ込むように破堤した。</p>
<p>資料提供者： 中部地区自然災害科学資料センター</p>	
<p>状況： ー</p>	
<p>撮影位置</p>  <p>※国土地理院発行地形図を使用</p>	